

キャンヘルプタイランド

ネットワーク通信

2019年11月30日発行 第87号

※ ネットワーク通信第87号の「タイ便り」はお休みです。

カレンダー

～ 2019年9月～11月 ～

日付	内容	プログラム
9月1日(日)	NPO イーパーツ プリンター寄贈プログラム (FAX プリンター受領)	事務局
9月11日(水)	認定NPO 法人申請 事務所調査	事務局
9月29日(日)	運営委員会 第1回翻訳会	事務局
10月12日(土)	名古屋女子大学付属中学高校 学生訪問 (台風のため中止)	事務局
10月13日(日)	ワールドコラボフェス2019 (台風のため中止)	事務局
10月27日(日)	運営委員会 第2回翻訳会	事務局
11月9日(土)	人間環境大学 学生事務所訪問	事務局
11月23日(土)	名古屋千種ロータリークラブ カンボジアトイレ支援完成式	カンボジア
11月30日(土)	運営委員会	事務局

●今後の予定

日付	内容	プログラム
12月初旬	NT 通信第87号発送	事務局
12月6日(金)	名古屋 NGO センター忘年会	事務局
12月14日(土)	運営委員会 奨学金プログラムアサイン作業	事務局
12月21日(土)	国際協力カレッジ出展 JICA 中部	山岳
1月下旬	運営委員会	事務局
2月1日(土)	ボランティア入門講座	事務局
2月中旬	運営委員会 会報発送	事務局
2月下旬	チェンマイ「カサロンの家」ツアー(予定)	山岳

報告1

～認定NPO 法人について～

昨年から進めていました、認定NPO 法人格の認可申請ですが、残念ながら事務局の準備不足により、今年度中の申請を取り下げることになりました。名古屋市の市民活動推進センター様の指導の下、数年前から準備を進めてまいりましたが、定款の運用や理事会議事録など認定NPO 法人の要件を満たしていない項目が多くあり、それらの修正が迅速に行えず、本年度の認定NPO 認可は不可能となってしまいました。

会員の皆様には、事務局の勝手にお詫びいたしますとともに、今後も、認定NPO 法人格取得に向けて万全の準備をしていきますので、ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

報告2

～2019年度給食プログラム～

2017年度は給食プログラムとして、タイ・チェンマイの「カサロンの家」へ牛と牛小屋の支援を行いました。その時購入した4頭の子牛は順調に成長し、現在1頭が妊娠中で、来月には出産予定です。子牛を生産し販売することにより、寮の現金収入となり「寮生の生活がより良いものになるように」という願いを込めて牛の支援をしました。この支援が、軌道に乗ってきていることを大変うれしく思います。

さて、2019年度の給食支援プログラムですが、タイでの学校給食については政府からの学校支援が充実し、その必要性が薄くなってきましたので、別の方法での給食支援を模索しています。カンボジアでの給食プログラム開始も考えましたが、そもそも、カンボジアの小学校に学校給食制度がありません。

そこで、年間15万円ほど集まる給食プログラム寄付の支援先として、「カサロンの家」へのコメ支援を考えました。1日10kgほどの米を消費する「カサロンの家」と「希望の家」は、寮生が食べる米を一部は自給していますが、そのほとんどを外部から購入しています。年間3トン以上の米が必要となり、単純計算でも35,000バーツ（約150,000円）の米購入費が必要です。キャンヘルプタイランドからの米購入費支援により、今までは寮生が、休日ごとにきつい田んぼ仕事をして一部の米を自給していましたが、その作業が軽減されるとともに、寮の安定した食糧確保につながります。



報告3

～名古屋千種ロータリークラブ様 カンボジアトイレ支援～

2019年度は名古屋千種ロータリークラブ様から、カンボジアの2校の小学校へトイレを支援いただきました。それに伴い、11月22日から現地でトイレ支援校訪問ツアーを開催いたしました。

11月22日（金）

名古屋千種ロータリークラブの皆様（7名）は、10:30のセントレア発バンコク行きのタイ航空でバンコクに到着し、そのまま、市内のホテルに宿泊で1日目は終了。

11月23日（土）

早朝にバンコク国際空港よりカンボジアのシェムリアップ国際空港へ飛行機で移動です。前回は陸路をワゴン車で移動しましたが、6時間以上の車での移動は大変だったので、今回は飛行機での移動になりました。

朝9時にカンボジアのシェムリアップ国際空港に到着し、無事にカンボジア入国。そのまま、マイクロバスでトイレ支援をしたバタンバン州サンパオルン郡へ向かいます。途中、シソボンという街で昼食をとりながら約4時間の移動です。

午後2時、訪問1校目のプノムルサイ小学校の本校で、現地の教育委員会のアンさんと合流し、我々は、マイクロバスから、乗用車3台へ分乗しプノムルサイ学校を目指します。プノムルサイ小学校は、幹線道路から未舗装道路を8キロほど入ったところにあり、悪路なのでマイクロバスでは侵入できません。学校では約40



名の児童が整列し、我々の到着を待っていてくれました。完成したトイレや井戸の前で写真を撮り、名古屋千種ロータリークラブ会長のあいさつ、サンパオルン郡の郡長あいさつと続き、学校の子どもたちへロータリークラブから鉛筆とノートがプレゼントされました。予定も押していたので、早々に学校を離れ、次の目的地、アンコールバーン小学校へ向かいます。



アンコールバーン小学校へは午後 3 時過ぎに到着しました。400 名の児童が学校の門から列になって、ロータリーの皆さんをお迎えしてくれました。こちらの学校には 4 部屋トイレを支援しましたが、工事スケジュールの遅れがあり、まだ 60% 程の進捗状況でした。建設途中のトイレの前で写真を撮り、プノムルサイ小学校と同様に、簡単な式典を済ませ、400 名の児童に文具のプレゼントも無事に完了しました。

アンコールバーン小学校から、今日の宿泊地のシソポンまでは車で 4 時間の道のりです。タイとの国境線にある道を北上し、国道 5 号線の交差点を右折して東へ戻ります。ホテルに到着したのは夜 8 時前でした。ホテル内のレストランで夕食を済まし、明朝の出発に備えます。

11 月 24 日 (日)

朝、7 時にシソポンのホテルを出発し、アンコールワットのあるシェムリアップを目指します。まっすぐ東への 1 本道で、約 2 時間の道のりです。シェムリアップ到着後、ロータリークラブの皆さんは、アンコール遺跡群の 1 日観光へ向かわれました。午後 8 時前にシェムリアップ国際空港で帰国便にチェックインし、バンコク経由の深夜便で、ロータリークラブの皆さんは、名古屋への帰路に着かれました。



報告 4

～24 年来の友人を訪ねて～

30 年前までは、電話や手紙しかコミュニケーションツールがなかったので、特に海外の友人たちとの連絡手段には、結構なお金と時間が必要でした。しかし、1995 年に Windows95 のコンピューターが発売され、電子メールというツールが普及し始めると、その環境は一気に変化しました。特にコンピューターの普及したアメリカやヨーロッパとの連絡は、ほぼ無料の電子メールで瞬時にでき、のちにインターネット回線の速度が良くなるとスカイプなどのテレビ電話も可能になりました。

ところが、通信インフラの整備が遅れたタイのイサーン（東北）地方では、2000 年頃まで一般家庭には固定電話もなく、ある人に電話をしようと思ったら、まずその人の住む村にある電話屋に電話をかけ、その人をそこまで呼んできてもらうようお願いしてから一旦電話を切り、その人が到着したところを見計らってもう一度こちらから電話をかけなおすという段取りでした。もちろん、田舎の電話屋の人が、流暢な英語を話せるわけでもなく、その一連の作業を終えるために注がれる労力は計り知れませんでした。

2005 年頃になると、タイの地方都市でも急速に携帯電話網が発達したため、各家庭に固定電話は敷かれないうまま、携帯電話社会になり



ました。【携帯電話網の場合、アンテナを立てるだけで、広範囲がカバーできるので設備投資額が固定電話よりかなり安くなります。また、ほぼ平地のタイ東北地方は、アンテナの数も少なくて済むので、とても経済的な携帯電話網の整備は爆発的に進みました。ちなみに“タクシン元首相”は携帯電話会社で財を成しました。】 そんなわけで、今では小学生までもがスマホを持つ時代です。【日本のように携帯電話会社が電話機にロックをかけて他の通信会社では使えないようにするという事もなかったので中古の電話機市場も活発で、古いスマホも安く取引されます。小学生でも簡単に買ってしまうのです。】 そして、もちろんほとんどの人がソーシャルメディアのアカウントも持ち、個人個人に簡単に連絡できる環境が整いました。

前置きが長くなりましたが、私が、初めてタイに行ったのが1996年で、プリラム県での図書館建設ワークキャンプでした。その時、マミング学校で大変お世話になったウイロー先生が、2010年頃からFacebookをはじめ、簡単に連絡をとれる環境になりました。そこで、「せっかく連絡もとれるし、久しぶりに会いたいなあ。」と思い、今回、久しぶりにアユタヤまで会いに行くことにしました。現在、ウイロー先生は、出身地のアユタヤに戻り、実家近くの小学校で教鞭をとっています。

11月20日の午前11時過ぎ、バンコクのフォアランポーン中央駅からアユタヤを目指します。バスやワゴンでも移動できますが、列車の料金の安さはとても魅力的です。バンコクからアユタヤの先のバンパチー駅までわずか19パーツ。11:20バンコク発、13:29バンパチー着。2時間ちょっとの3等列車の旅が約70円です。列車は、バンパチー駅に13:45に到着しました。あらかじめSNSのチャットで到着時間をウイロー先生に連絡しておいたので、少し待たせたかなと思ったら、先生は14:00過ぎに駅に現れました。マイペンライです。約15年ぶりの再会ですが、お互い白髪が増えたのと、少し太ったこと以外はあまり変わりませんでした。ただ、ウイロー先生も結婚して、奥さんと13歳の娘さんが一人の3人家族となっていました。同居していたお母さまは少し前に亡くなられたようです。ウイロー先生は奥さんと一緒に私を迎えに来てくれました。仕事の途中だったウイロー先生を勤務先の学校で降ろし、先に自宅へ戻りゆっくりさせてもらうことにしました。といっても、列車でぐっすり睡眠をとったので昼寝もできず、先生のバイクを借りて近所の大きなお寺を見に行くことにしました。未完成ですが大きな仏塔が建ち、境内もきれいに整備され、これから観光地としてやっていくぞ！感がありありのお寺です。ガラスケースに入った僧侶のミイラも安置され、すでにタイ人観光客も大勢見学に来ていました。暗くなる前にウイロー先生の家へ戻り水浴びをしてハンモックに揺られていると、ウイロー先生が帰宅されました。

ウイロー先生は昔から料理が得意で、この日もグリーンカレーや蒸し魚、魚のスープなどを作ってくれました。パラパラと勤務先の他の先生方も加わり、ちょっとした宴会が始まります。昔、まだ私がタイ語を全く話せないとき、ウイロー先生はよく私を飲み会に同席させてくれました。会話についていけない私は、ただ他の人の話を聞いているだけでしたが、それが、耳の訓練となり、今では、ちょっとしたタイ語会話ならある程度理解できるようになりました。まあ、酔っ払いのタイ語ですので、相当なスパルタ訓練でしたが・・・。



宴会は、夜11時過ぎまで続きましたが、時差の関係であまりにも眠かったので、うまく途中で抜け出して、自分の部屋で勝手に寝てしまいました。朝起きてみると、夜の宴会にはいなかった人が、軒下の縁台に張ったテントで寝ていました。よくよく話を聞いてみると、その人の息子は、タイ政府の機関で働いていて、日本人女性と結婚し、今は愛知県で生活しているとのことでした。彼は12月にその息子に会いに日本へ行くそうです。そういう話がしたくて、昨夜の宴会に遅くに合流したようですが、私が先に寝てしまったので、結局、そのまま泊まっていったみたいです。本当に悪いことをしました。朝食をみんなで食べた後、ウイロー先生は出勤されたので、私は、早々にバンコクへ戻ることにしました。

いろいろバタバタして、ウイロー先生とはあまり話ができませんでした。また、時間を作って遊びに行きたいと思います。私の突然の訪問（特に用事があるわけでもない）を快諾してくれたウイロー先生は、キャンヘルプタイランドでの活動のおかげで出来た貴重なタイの友人の一人です。

報告5

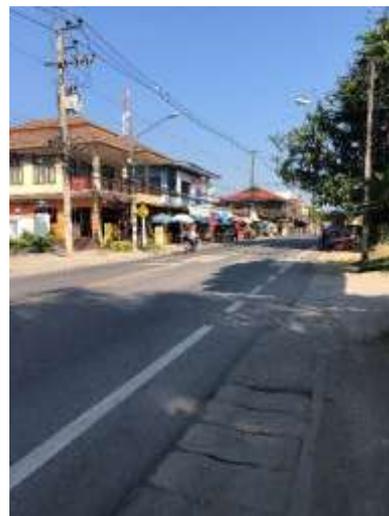
～タイ・チェンマイ「カサロンの家」訪問～

11月24日(日)の夜9時にロータリークラブの皆様をカンボジアのシェムリアップ国際空港でのお見送りを終えた私は、その1時間後のエアアジア便でタイのドンムアン空港へ向かいました。夜中の11時にドンムアン空港に到着し、翌朝6時過ぎのチェンマイ行きの飛行機に乗り換えです。国際線から国内線への乗り継ぎで空港のエアサイドから出る必要がないので、そのまま、トランジット用の入国審査カウンターでタイ入国を済ませ、国内線ターミナルへ移動しました。深夜の国内線ターミナルは出発便が終わっているので、清掃スタッフやお店を片付ける店員以外には誰もいません。翌朝便に搭乗する客はほかに見当たりません。逆にここに居てもいいのかわる不安になるような状況です。コンコースで唯一セブンイレブンだけが開いていたので、夜食と飲料水を買って、ベンチで仮眠することにしました。毛布などは持っていなかったので、カンボジアでもらったクロマー(手ぬぐいのような布)を布団代わりに、エアコンのガンガン効いた固いベンチで何とか2時間くらいは寝ることができました。

翌朝5時半に空港ラウンジがオープンしたので、シャワーを浴びてから無料の朝食をお腹一杯食べました。実は、昨夜の夕食も、シェムリアップ国際空港のラウンジで食べたので、1泊分のホテル代と朝夕2食分の費用を節約できました。今回のチェンマイ行きは経費がないので、なるべく節約旅行です。

11月25日(月)朝6時のドンムアン発チェンマイ行きのエアアジアでチェンマイへ向かいます。バンコクーチェンマイ便はドル箱路線なのでたいにいつも満席です。朝7時過ぎにチェンマイ空港へ到着。いつもなら「カサロンの家」のスタッフに空港まで迎えに来てもらうのですが、朝早いのと、子どもたちを学校へ連れていく時間と重なっているので、自力で「カサロンの家」へ向かうことにします。まず、空港からチェンマイの街の中心部にあるワロロット市場へ路線バスで向かいます。ダウンタウンを中心にして、チェンマイ空港から真反対の方向にあるワロロット市場まで、バスは大回りをしながら走ります。所要時間は40分程度でしょうか。8時過ぎにワロロット市場に到着し、今度は市内から北東へ20キロほどのところにあるドイサケットを目指します。ドイサケットへはソントウ(乗合トラック)が運行されています。黄色のピックアップトラックがドイサケット行きなので、ドライバーに確認しながら荷台に乗り込みます。通勤渋滞とは反対方向へ進むので、渋滞にも合わずに9時にはドイサケットに到着しました。ここから「カサロンの家」へは、さらにソントウを乗り継ぎます。こちらは、白色のソントウが1時間に1本あるかないかのマイナーな路線なので、相当な待ち時間の覚悟が必要です。30分程、道路わきでソントウを待っていると、突然、携帯電話が鳴りました。タッサニーさんからの着信です。「今どこにいる?」と聞かれたので、「ドイサケットでソントウを待っている。」と伝えると、「スタッフが、市場での買い出しの後にそこを通るから少し待って!」との指示でした。幸運にも10分後に「クッゲン」がピックアップトラックで現れました。そのまま、「カサロンの家」ではなく「希望の家」の方へ連れていかれ、「今回はこっちへ泊まれ。」との指示があり、「希望の家」で3泊ほど厄介になることに落ち着きました。「希望の家」のゲストルームに荷物を置き、早速「カサロンの家」へ現地調査へ向かいます。今回は、2017年支援の牛小屋と牛の視察、来春の学生訪問の打合せが目的でチェンマイまで来ました。「カサロンの家」で飼いだめた牛については、近いうちに子牛が産まれるようで、とても順調に育っていました。初めは4頭の子牛からスタートしましたが、現在は、キャンヘルプタイランド以外から2頭の牛を追加で支援されたので、計6頭の牛が「カサロンの家」で飼育されています。

また、「カサロンの家」には、現在建設中の建物があります。総予算300万円ほどの建物ですが、少しず



つ集まったお金でその都度建設作業を進めているので、今は 40% 程の進捗状況で資金ショートのため建設はストップ中です。完成の暁には、1 階は高学年女子部屋とスタッフ部屋とトイレ、2 階は図書室兼勉強部屋として使われる予定ですが、いつ完成するのかは誰にもわかりません。

一通り、「カサロンの家」を見て回り、用務員として働いている“ルンチュアイ”に声を掛けましたが、あまり元気がない様子でした。後で“タッサニーさん”に様子を聞いたところによると、「2 週間くらい前に、彼が子どもたちの使う木製の机を修理するために電動のこぎりを使っていて、誤って足の甲を切ってしまう気絶するほどの大量出血で大変だった。最近ようやく少し歩けるようになった。」とのこと。「カサロンの家」の女性スタッフが近くに居たから良かったけど、一人だったら危なかったそうです。大事に至らなくて本当に良かったです。ということで、夕方、“ルンチュアイ”が車の運転をできないので、代わりに私がピックアップトラックで子どもたちを学校まで迎えに行くことに。ドイサケットウィッタヤーコム学校には「希望の家」と「カサロンの家」の中高生 15 名が通っています。校門の前で学生たちの下校を待っていると、門を出てきた子どもたちに、特に驚いた様子もなく普通に「サワディーカー」と挨拶されました。今年 5 回目のチェンマイ訪問なので仕方ないです。



11 月 26 日（火）、タッサニーさんが、チェンライへ行くと急に言い出したので同行することに。タッサニーさんの午前中の会議終了を待ち、昼食後“クッゲン”の運転でチェンライへ。途中の幹線道路が大規模な工事中なので、片道 4 時間の道のりです。途中、少しだけトイレ休憩を入れながら、ほぼノンストップで“クッゲン”は運転し続けます。聞くとところによると、月に平均 3 回くらいはチェンライまで運転するそうです。先週も来たそうです。チェンライでは、「希望の家」の卒業生で、キャンヘルプタイランドの「すみれ奨学金」の奨学生の“オラタイ”と“センスック”に会うことができました。二人ともチェンライにあるメーファールアン大学に通っています。オラタイは看護科の 1 年生、センスックは会計の勉強をしていて来年卒業となります。“センスック”は夜中までレストランでアルバイトをしていて、夕食を共にできませんでしたが、翌朝会うことができました。この夜は、タッサニーさんの所有するチェンライのアパートに泊まります。

11 月 27 日（水）朝 7 時に他の人たちより早く目が覚めたので、近くのコンビニまで散歩しましたが、チェンマイもチェンライも早朝は吐く息が白くなるほど気温が低く、ホットコーヒーがとてもおいしく感じました。昼間は 28 度くらいにはなりますが……。朝 9 時前に、突然“ジェー君”がアパートに現れました。彼は、2005 年に「カサロンの家」の建設作業を一緒にした仲間で、数年前まで「希望の家」のスタッフとしてチェンマイで働いていました。現在はチェンライで建設現場の親方として働いており、今は自分の家を新築中だそうです。タッサニーさんは、「カサロンの家」にある建設中の建物についていろいろ聞きたくて専門家の“ジェー君”を呼んでいたのです。ジェー君との打ち合わせを終え、お昼前にチェンライを後にしました。途中、道端の屋台で昼食を食べ、夕方 4 時に「希望の家」に到着し、そのまま“クッゲン”はすぐに学校へ寮生たちのお迎えに行きます。学校から寮に戻った子どもたちは、12 月のクリスマス会の準備で大忙しです。もともとキリスト教系の財団が運営している寮なので、クリスマスは 1 年で一番大きなイベントになります。ダンスや歌の練習をしたり、広場に舞台を設営したり、子どもたちはそれぞれの役割をそつなくこなしていきます。



11 月 28 日（木）バンコクへ戻る日です。朝 7 時に子どもたちの登校を見送り、10 時 40 分のフライトに間に合うように、8 時半に「希望の家」を出発。帰りは“クッゲン”に空港まで送ってもらうことにしました。ちょうど朝の通勤ラッシュの時間帯ですが、空港までは 50 分程度で到着します。国内線ターミナル前で車を降りて、再訪を約束してお別れです。今年 5 回目のチェンマイ訪問はあっさり終了しました。

報告6

～2019年度奨学金資料翻訳会～

9月29日（日）と10月27日（日）の2日間、本年度の奨学金資料翻訳会が開催されました。

タイ奨学金の寄付の減少に伴い、ここ数年は新規奨学生の人数をしぼってきたため、現在のタイ奨学金の人数は87名となります。（今年度のカンボジア奨学金は小学1年生10名です。）

タイ人女性5名と日本人ボランティア5名でそれぞれペアになって、奨学生からの手紙や学生データなどの資料を翻訳しますが、今年度もとてもスムーズに作業が終了しました。12月に寄付者様と奨学生のマッチング作業を行い、12月初旬にはこのネットワーク通信87号と共に、奨学生データがドナーの皆様の元へ発送されます。

報告7

～トヨタ車体様より衣料品のご寄付をいただきました。～

12月7日（土）、トヨタ車体様からご寄付の衣料品を、栄の名古屋NGOセンターまで引き取りに行ってきました。本来は、トヨタ車体TABふれあいクラブ様から、フィリピンを支援しているNPOイカオ・アコ様への衣料品寄付でしたが、総重量700kg以上の衣類が集まり、イカオ・アコ様から「キャンさんもいかがですか？」と声をかけていただきましたので、ありがたく頂戴することにしました。衣類は、タイへ郵便で送るとかなりの送料がかかりますので、タイやカンボジアへ渡航するときに少しづつスーツケースに詰めて現地へ運ぼうと思います。



報告8

～おおしま手作り絵本コンクール～

「おおしま国際手作り絵本コンクール2019」の賞状と記念品が出展作品と共に送られてきました。今年度は入賞でしたので、共同制作者4名分の賞状が届きました。来年度の奨学金授与式の時に、4名に賞状を手渡したいと思います。



イベント

～台風の影響～

今年は度重なる台風の襲来で秋のイベントの中止が相次ぎました。

10月14日（土）には名古屋女子大学附属中学校の生徒の皆さんが、当会事務所を訪問される予定でしたが、台風の影響で中止になり、また、10月15日（日）のワールドコラボフェス2019も同じく中止となりました。特に、ワールドコラボフェスでは、タイのモン族の民芸品などの販売を計画していたので、大量の在庫が残ってしまいました。来年の開催に期待したいと思います。

来年のゴールデンウィーク頃には、栄でメーデーフェスが開催されるので、そちらでも物品販売を行いたいと思います。日程が決まり次第、会員の皆様にはお知らせいたします。

お知らせ

～ご寄付のお願い～

各プログラムへのご寄付を広く募集します。ご協力くださる方は、同封の振込用紙もしくは郵便局に備え付けの振込用紙を使用いただき、必要事項及びご寄付を希望のプログラム名（寄付金の使途）を記入してお振込み下さい。尚、寄付金の使途をご指定にならない場合は、こちらで振り分けさせていただきますのであらかじめご了承ください。

奨学金プログラム(タイ・カンボジア)	1 □	10,000 円
ランチプログラム	1 □	5,000 円
建設プログラム	1 □	5,000 円
図書支援プログラム	1 □	1,000 円
山岳民族支援プログラム	1 □	10,000 円
カンボジア支援プログラム	1 □	5,000 円
運 営 基 金	1 □	1,000 円
会 費 ※	1 年	3,000 円

※ 会員制度とは…

会員になっていただいた方には、年4回「ネットワーク通信」をお送りし、キャンヘルプタイランドの活動やイベント情報、タイにまつわるいろいろな情報をお伝えしていきます。年1回、会費3,000円をお振込みください。

寄付金・会費のお振込みは…

<郵便振替口座>

口座名：NPO キャンヘルプタイランド
番 号：00280-2-43793

運営委員会

(2019年9月～11月)

活動	月日	場所	内容
運営委員会	9月	事務局	愛知大学ボランティアツアー報告 翻訳会
運営委員会	10月	事務所	翻訳会
運営委員会	11月	事務所	名古屋千種ロータリークラブ完成式報告

運営委員募集中!

通常は毎月第4土曜日に事務局に集まり、会の運営について話し合っています。見学でも結構ですので是非事務所へ遊びに来てください。

次回の運営委員会は **開催日未定のため参加希望の方は事務局までメールでお問い合わせください。**

編集後記

12月に入り、急に寒くなりましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか? 11月下旬にタイ北部のチェンマイとチェンライに行っていたのですが、現地も朝夕は気温が下がり、ダウンジャンパーなどが必要な程でした。

先日、フィリピンを支援しているNPOイカオ・アコさんから、大量の古着をいただきました。現地へ郵送すると、お金がかかるので、スタッフが渡航する際に少しずつタイやカンボジアへ運ぼうと思います。といっても、300kg以上あるので、全部支援し終わるのに5年以上かかるかもしれません。

<キャンヘルプタイランドネットワーク通信 Vol.87>

発行 NPOキャンヘルプタイランド
 発行人 西川 弘達
 編集人 坂 茂樹
 発行日 2019年11月30日
 住 所 〒450-0003
 名古屋市中村区名駅南2-11-43
 NPOステーション内
 Tel & fax 052-566-5131
 (OPEN: 土曜の13~16時頃)

E-mail: office@canhelp.jp
 ホームページ: http://canhelp.jp